

食品産業の輸出向けHACCP等対応施設の整備

【令和4年度予算概算決定額 600(970)百万円】

【令和3年度補正予算額 6,400百万円】

<対策のポイント>

農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、**食品製造事業者等の施設の新設及び改修、機器の整備**を支援します。

<事業目標>

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

<事業の内容>

1. 加工食品等の輸出拡大に向け、輸出先国の求める基準・条件等の規制に対応するため、**製造・加工、流通等の施設の新設（かかり増し経費）及び改修、機器の整備に係る経費**を支援します。

- ① HACCP等の認定取得に必要な規格を満たすための施設・設備
- ② ISO、FSSC、JFS-C等の認証取得に必要な規格を満たすための施設・設備
- ③ 検疫や添加物等の規制に対応した製品の製造に必要な施設・設備

2. 施設整備と一体的に行い、その効果を高めるために必要な**コンサル費等の経費（効果促進事業）**を支援します。

<事業イメージ>



施設の衛生管理の強化に向けた排水溝、床、壁等の改修



温度管理を要する装置・設備の導入



空気を経由した汚染の防止設備（パーティション）の導入



製造ラインに輸出専用のミキサーを追加導入し、添加物混入を回避

<事業の流れ>

